

製品名: AIRP ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06709**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	69kDa

抗原情報

遺伝子名	NT5C1B
別名	NT5C1B; AIRP; FKSG85; Cytosolic 5'-nucleotidase 1B; cN1B; Autoimmune infertility-related protein; Cytosolic 5'-nucleotidase IB; cN-IB
遺伝子 ID	93034.0
SwissProt ID	Q96P26
免疫原	抗血清はヒト NT5C1B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 171-220

背景

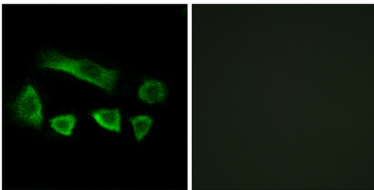
NT5C1B などの細胞質 5 プライムヌクレオチダーゼは、多様な生理学的プロセスを制御するアデノシンの生成を触媒します (Sala-

Newby and Newby, 2001 [PubMed 11690631]。[OMIM 提供、2008年3月],触媒活性: 5'-リボヌクレオチド + H(2)O = リボヌクレオチド + リン酸。補因子: マグネシウム。酵素調節: ADPによって活性化。機能: デオキシリボヌクレオチドの5'および2'(3')-リン酸を脱リン酸化します。アデノシンレベルの調節に役立ちます。機能: レチノイドに対して酸化還元触媒活性を示します。NADPH依存性レチナル還元酵素として最も効率的です。9-シスおよびオールトランスレチノールに対して高い活性を示します。ステロイド脱水素酵素活性は検出されませんでした。類似性: 5'-ヌクレオチダーゼ3型ファミリーに属します。類似性: 短鎖脱水素酵素/還元酵素 (SDR) ファミリーに属します。組織特異性: 脳、腎臓、脾臓、胎盤で発現します。組織特異性: 精巣、胎盤、脾臓で高い発現を示します。心臓、腎臓、肝臓、肺でも低レベルで検出されます。、

研究分野

プリン代謝;ピリミジン代謝;ニコチン酸およびニコチンアミド代謝;

画像データ



NT5C1B抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。